

地域低侵襲消化器医療学講座の紹介

## 地域の声に広く耳を傾け、対話と連携で地域医療を担う

地域低侵襲消化器医療学講座 教授 石丸 啓

2020年に伊方町からの要請として寄附講座を作りませんか、という話をいただきました。大学で働いていた私にとって新しい挑戦であり、正直悩みました。が、話をいただいたということは私がやるべき仕事なんだ、という思いもあり決断しました。大学病院の役割は教育・臨床・研究だと言われてきましたが、すでに「地域」というキーワードは欠かせなくなっています。そして今後、さらに重要な位置を占めるようになると思います。大学病院として力を入れていく地域、その先頭を私が担っているという気持ちでいます。もう一つ、世界でも類を見ない少子高齢化を迎えていく日本の、さらに17年後の人口比率を体現しているのが今の伊方町の現状です。これからの人口減少社会での医療を、ひと足先に経験している状況です。だからこそ、私が経験していることを記録することで、そういう社会が到来したときによりよい医療が提供できるようになると思います。何よりも患者さんの話を聴くことから始め、自分から地域に飛び込んでいく覚悟です。



### PROFILE

いしまるけい©1995年浜松医科大学卒業。2014年から愛媛大学大学院医学系研究科消化管・腫瘍学講座に着任。2020年8月より新講座開設。専門は、消化器外科、一般外科、内視鏡外科。消化器、特に消化管を中心に診察。



地域低侵襲消化器医療学講座  
ホームページ



前回掲載記事  
「地域低侵襲消化器医療学講座の設置」  
INVITATION64号